

日本租税理論学会2021年度研究大会・総会プログラム（案）

1. 開催日程

2021年10月30日（土）10時30分～10月31日（日）15時20分

2. 研究大会会場と大会幹事

○ 会場： 名城大学 天白キャンパス ※オンライン開催も併行して準備中。

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地 052-832-1151（代）

（注）「名古屋」駅より約40分、地下鉄鶴舞線「塩釜口／名城大学前」駅下車、1番出口（右）徒歩約4分。

施設情報

● 研究大会会場： 未定 ● 理事会会場： 未定

○ 大会幹事： 伊川 正樹 理事（名城大学法学部教授）

● e-mail： igawa@meijo-u.ac.jp

3. 講演

● 「コロナ禍における内部留保と課税」
講演者： 谷江 武士 氏（名城大学名誉教授）

4. シンポジウムのテーマと報告タイトル・報告者

○ テーマ： 「災害・デジタル化・格差是正と税制のあり方」

○ 報告タイトルと報告者

司会： 未定

- ① 「東日本大震災被災自治体の復興格差とポスト復興の財政課題 ―地方税からのアプローチ」
報告者： 栗田 但馬 会員（岩手県立大学総合政策学部教授）
- ② 「AI・ロボット税の導入論議」
報告者： 泉 絢也 会員（千葉商科大学商経学部准教授）
- ③ 「デジタル課税における知的財産権の評価」（仮題）
報告者： 谷口 智紀 会員（専修大学法学部教授）
- ④ 「適格請求書等保存方式への移行と電子インボイスの課題」（仮題）
報告者： 山元 俊一 会員（税理士）
- ⑤ 「格差拡大を加速させるインボイス制度」
報告者： 松井 吉三 会員（税理士）
- ⑥ 「アメリカ EITC のノンコンプライアンスにおける法的問題点 ―最近の裁判例を検討素材として―」
報告者： 道下 知子 会員（青山学院大学法学部准教授・税理士）
- ⑦ 「経済のデジタル化と課税をめぐる国際協調と米国の税制改革」
報告者： 篠田 剛 会員（立命館大学経済学部准教授）

5. 一般報告（自由論題）と報告者

司会： 未定

- ① 「課税所得計算調整制度の日米比較」
報告者：倉見 智亮 会員（西南学院大学法学部教授）

6. スケジュール

第1日目 10月30日（土）

- 10時00分 : 受付開始
10時30分～10時40分 : 開会（理事長挨拶、開催校連絡事項）
10時40分～11時40分 : 一般報告①（報告40分・質疑20分）
11時50分～12時50分 : 昼食休憩／理事会
13時00分～14時00分 : 講演（講演40分・質疑20分）
14時00分～14時10分 : 休憩
14時10分～14時50分 : シンポジウム報告①
14時50分～15時30分 : シンポジウム報告②
15時30分～15時40分 : 休憩
15時40分～16時20分 : シンポジウム報告③
16時20分～17時00分 : シンポジウム報告④
17時00分～17時30分 : 総会

第2日目 10月31日（日）

- 9時00分 : 受付開始
9時30分 : 開会
9時30分～10時10分 : シンポジウム報告⑤
10時10分～10時50分 : シンポジウム報告⑥
10時50分～11時00分 : 休憩
11時00分～11時40分 : シンポジウム報告⑦
11時50分～12時50分 : 昼食休憩／理事会／質問票回収
13時00分～15時30分 : シンポジウム質疑討論（途中10分休憩）
15時30分～15時40分 : 閉会

7. 懇親会

会場： 未定 / 会費： 未定（原則、事前予約必要）

8. 税理士会の認定研修

名古屋税理士会・東海税理士会に申請予定

【注】今後、修正が生じましたら、逐次、HPでお知らせします。